

墨染すみぞめは鐘木町しゆもくの北三町ばかりにあり。むかしは此所までも深草ふかくさといひて、野辺には桜多し。寛平三年堀川太政大臣昭

宣公薨せんじ給ふ時、上野岑雄かんづけのみねを哀傷の和歌を詠ぜしかば、此ほとりの桜墨染すみぞめに咲しとなり、

古　　今　　深草ふかくさの野辺の桜し心あらば今年ばかりは墨染すみぞめにさけ　　み　　ね　　を

菅公くわんこうの神詠には、梅もつくしに飛。趙師雄てうしゆうが逢ひし美人は寢覚の枕に見えず、嵩山すうざんの松は青牛と化し。康頼入道の宝物

集には、草木心なしといへども物のあはれを知らばこそ、その春は墨染すみぞめに咲、今に深草ふかくさの墨染桜とてありとか、れしは、

其頃までもありしと見えたり。